

様々な生物が見られる初夏

■ 稚魚の成長は例年並み

5月に入り、様々な生物が観察できる季節になった。ボラの稚魚 (Fig.1) やヒメハゼ (Fig.2), アカオビシマハゼなどが多数観察された。イシガレイの稚魚 (Fig.3) は河口域で25匹採集し平均全長は3.62cmであった (Table.1)。Table.2は2011年からの稚魚の成長を示すグラフであるが、今回の調査の大きさはこれまでのデータの中に収まっている。稚魚は安定した成長を見せていると考えて良いであろう。

稚魚の全長	2.0cm	2.5cm	3.0cm	3.5cm	4.0cm	4.5cm	5.0cm	5.5cm	6.0cm
採集数(河口)	1	4	6	4	5	1	1	2	1

(Table.1 稚魚の全長と数 5月)



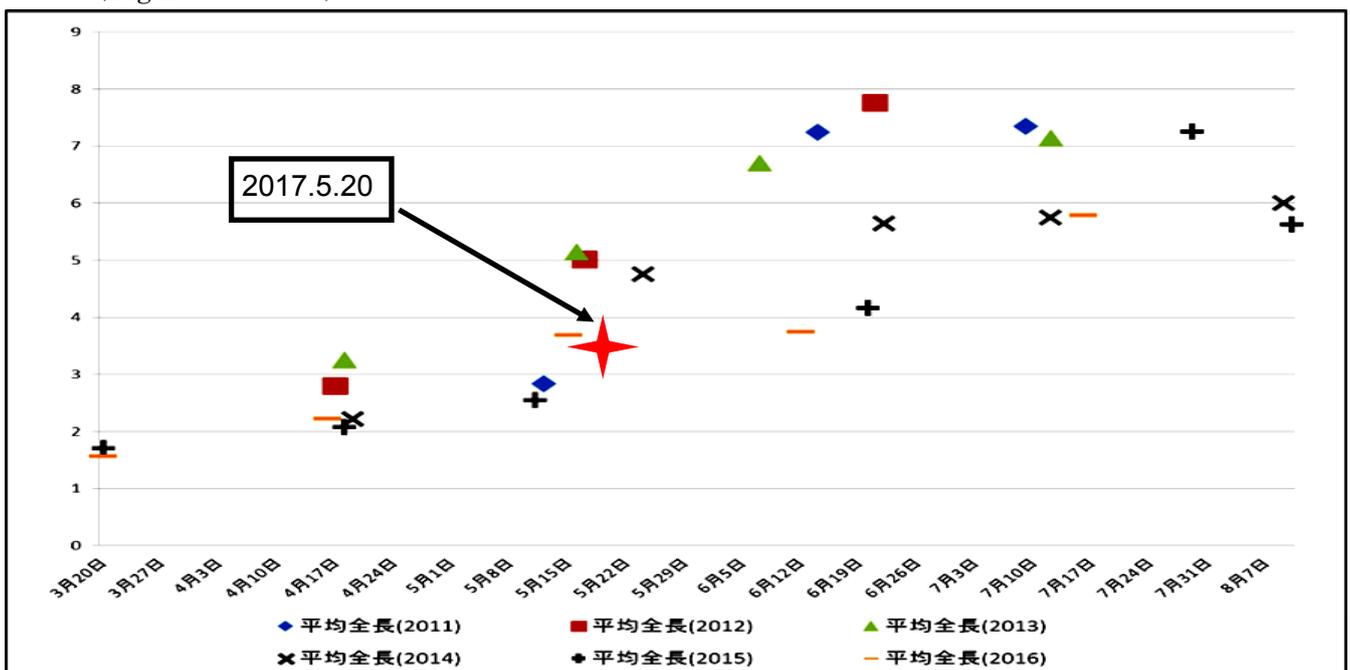
(Fig.1 ボラの稚魚)



(Fig.2 ヒメハゼ)



(Fig.3 イシガレイ稚魚 最大個体と最小個体)



(Table.2 2011年～2016年の採集日と稚魚の全長)

(佐藤 賢治)